

項目	タイプA：シンプル表示	タイプB：解説つき表示	タイプC：総合評価表示
対象	測定結果だけを知りたい方	状態の理解と対策まで知りたい方	総合的な体調管理や継続的な記録が必要な方
表示内容	・脳疲労度(偏差値より算出) ・ストレス度(自律神経バランス) ・検査結果の2次元グラフ表示	← Aの内容＋ ・解説付き表示(数値の意味) ・過去との比較グラフ ・一般的な対処法の提示	← Bの内容＋ ・質問紙(5問)による体調チェック ・体調変化の比較グラフ ・自律神経×質問紙の総合評価
結果のわかりやすさ	★★★★☆(数値表示中心)	★★★★☆(説明つきで理解しやすい)	★★★★★(心身状態を多角的に評価)
おすすめ用途	企業の健康経営	企業の健康経営、社員、利用者のセルフケア	企業の健康経営、利用者のセルフケア薬局、スポーツクラブ、研究現場など
自律神経計測センサー MF100購入費(税抜き)	20万円	20万円	20万円
自律神経分析ソフト VM600利用費(税抜き)	年間 36,000円	年間 40,800円	年間 42,000円